

帝國議會衆議院商法修正案審查特別委員會速記錄

(第三號)

明治三十二年二月十八日午前十一時三十二分開議

○委員長(大岡育造君) ソレデハ、是ヨリ商法ノ修正委員會ヲ開キマス

○(鈴木總兵衛君) 質問致シマスガ、此百五十三條ニ「會社ガ前條ニ定メタル手續ヲ踐ミタルモ株主ガ拂込ヲ爲サ、ルトキハ其權利ヲ失フ」コトガアッテ、是ハ極リキツタコトデハアリマスガ、少シ此株式ニ對シテ拂込ヲ怠ルトキハ、公賣ニ附シテ其處置ヲスルト云フコトガ、從來爲シ來ツタコトデモアリマスガ、今度ノ案デ見ルト、前ノ方ニモ遡ッテ、殆ド約束手形ノ裏書同様ノモノデ、二個年マデハ轉輾シテ、先キノ方ニモ掛ルト云フコトニナツテ居マヌスガ、此處デ權利ヲ失フト云フト、公賣ニ附スルトキニ、其額ニ足ラネバ——足ラヌトキニハ追徵ヲシ、剩餘ノアルトキニハ、即チ餘ルト云フトキニハ、現今ノ株主ニ拂戻スト云フコトガ、從來ノ習慣デアルガ、此ノ「權利ヲ失フ」ト云フコトニカケテ見ルト、從來ノ通デアリマスノカ、或ハ残シタ金ハ、ドウ云フ處置ヲスルカト云フコトガ、是ダケデハ分ラナイカラ、伺ッテ置キタインデアリマスガ、從來ノ習慣デハ、足ラネバ追徵シ、餘レバ割戻シテ返スト云フ、サウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 現行ノ商法第二百五十五條ニハ、唯今御質問ノアリマシタ通「剩餘アルトキハ會社ハ從前ノ所有者ニ還付ス」ト云フコトニナツテ居ル、是ハ現行商法ノ主義カラ立論スルト、是非斯ウ云フ二百五十五條ニ定メテアルヤウナ結果ニナラナケレバナラナイ、ソレハドウ云フ譯カト云フト、現行商法ノ第二百八十二條ニ於テ、株金半額拂込前ニ株式ヲ讓渡シタモノハ讓渡ヲナシタ後二年間會社ニ於テ擔保義務ヲ負フト云フコトニナツテ居ル、而シテ此擔保義務ト云フモノト、二百五十五條ニ定メテアル公賣ト云フモノ、關係ハ、現行法ニドウナツテ居ルカト云フト、滯納者ガアツタトキハ、先づ會社ガ公賣ヲシテ、而シテ其公賣ニ依クテ得タ金額ガ、滯納金額ニ充タザルトキハ、初メテ第二百八十二條ニ依クテ、求メルコトガ出來ルト云フコトニナル、ソレハ現行法ト修正案トハ、根本カラ主義ガ違フテ居ルノデアリマス、此修正案ノ第二百五十三條第二項ニ於テハ、此公賣ヨリモ先キニ、株式ノ讓渡人ニ對シテ、一應催告ヲシナケレバナラヌコトニナツテ居ル、此催告ヲナスト云フコトハ、固ヨリ會社カラ其讓渡人ニ對シテ、滯納金額ヲ強制的ニ仕拂ハシメルト云フコトモ、含ンデ居ルノデアリマスガ、若シ會社ガ強制的ノ仕拂ヲ好マナイトキハ、此第三項ノ規定ニ依クテ、株式ヲ競賣スルコトガアル、故ニ擔保義務ノ方ヲ先キニ履行サセヤウト思ヘバ、會社ガ自由ニ履行ヲ求メルコトガ出來ル、厭ヤダト思ヘバ、競賣ノ手續ニ依ルト云フノデアリマスカラ、現行法トハ主義ガ反對ニナツテ居ルノデアリマス、現行法デハ、先キニ公賣ヲシナケレバナラナイ、ソレヲ修正案デハ、公賣ヨリモ先キ

ト云フモノハ、元來ノ性質カラ申シマスト、何時マデ經ツテモ繼續スベキモノデアル、ソレハ既ニ株式ノ申込ヲナシ、若クハ株式ノ讓渡ヲ受ケタ以上ハ、會社ニ對スル義務ヲ持ツノデアルカラ、自己ノ會社ニ對スル負擔トシテ居ル債務ヲモ、併セテ他人ニ嫁スルト云フコトハ、出來ナイノデアリマス、元來ノ法律論カラ言ヘバ、擔保義務ハ、全額ニ付イテ繼續シテ往クモノト云フノガトガ出來ヌト云フヤウニナルカラ、却テ會社設立ノタメニ、害ガアルト云フヤウニナルカラモ知レヌカラ、株主ノ其募集ニ應ジタルモノハ、其義務ガ一定ノ期限内ニ消滅セシメルガ宜トイト云フ方針ヲ採クタノデアリマス、今申上ゲル通讓渡ノ擔保義務ト云フモノハ、長ク繼續スルモノノデアリマスト、先キニ公賣ヲシテ、其公賣ニ依クテ株式ヲ誰レカ得ル、人ノ手ニ渡シテ居ルノニ、ラヌト云フコトニナル、ソレデ一例ヲ申セバ、百圓券ヲ貳拾五圓、即チ四分ノ讓渡人ハ何ノ得ル所モナクシテ、會社ニ對シテハ、未納額ヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトニナル、ソレデ第一例ヲ申セバ、百圓券ヲ貳拾五圓、即チ四分ノ讓渡人ハ何ノ得ル所モナクシテ、株式ヲ誰レカ得ル、人ノ手ニ渡シテ居ルノニ、讓渡人ハ矢張不足額ヲ拂ハナケレバナラヌト云フノデ、讓渡人ノ金ガ、貳拾五圓デアレバ、會社ノ方ハ、即チ滯納金額ヲ得タルコトアリマスカラ、ソコデ若シ直チニ公賣ト云フ手續ヲ取ルト、株ハ知ラヌ人ノ手ニ渡シテ居ルノニ、讓渡人ハ矢張不足額ヲ拂ハナケレバナラヌト云フノデ、讓渡人ハ迷惑デアラウカラ、固ヨリ此公賣ニ附スル所ノ株券ノ價額ガ、滯納金額ヨリ多イト云フキニハ、無論其株主ハ、自分デソレヲ質ニ入レルトカ、他人ニ讓渡シ、滯納金額ヲ拂フニ違ヒナイ、會社ニ於テモ、滯納アル場合ニハ、必ず滯納金額ノ方ガ多イト云フコトハ、普通ノ場合デアリマス、併シ文ノ値打モノノデアリマスト、誰モ買手ノナイ譯デ、幾ラカズ、價格ヲ以テ居ルモノデ、而シテ當然讓渡人ガ、據保義務ヲ持クテ居ルカラ、擔保義務ハ履行サレルニ附イテハ、其株券ヲ與ヘテヤルト云フノ方針ヲ採ル方ガ、幾分カ讓渡人ノ義務ヲ輕減スルノ結果ヲ生ズル、其輕減ノ結果ヲ生ゼシムルニハ、先づ滯納者ヲシテ、株主タルノ權利ヲ全然失ハシメヌト困ル、而シテ擔保者ハ、全然株主タルノ權利ヲ失ウテシマツテ、ソレデ定リヌケレバ、追

求ヲサレルノデ、餘ツタト云ウテモ、ソレハ擔保者ニ戻スノデハナイ、戻スヤウナ場合ナラバ、擔保者ガ何トカ自分デ拂込ヲナスノ餘裕ヲ得ル譯デ、餘程極端ナ場合デ、競賣ト云フコトニハナラナイ、故ニ現行法ニ於テハ、剩餘アル場合ニハ、從前ノハ株主ニ還付スルコトニナリマスガ、此修正案ノ趣意カラ見ルト、還付セヌノデ、又還付スルヤウナ場合ハ、即チ公賣ノ手續ニ依ラナイ場合デアリマスカラ、ソコデ主義ヲ變ヘテ、權利ヲ失フコトニシタノデ、是ハ現行法ノ一部實施ノ際ニ、ドウ云フ理由デアリマシタカ、改マッタノデアリマス、草案——草案ト云ウテハ、オカシイカ知レマセヌガ、一部實施ノ際ニ修正シナカツタ、此法律ニ於キマシテハ、矢張所有權喪失ノ宣告ヲナスコトヲ得ト云フコトニナルノデ、殆ド其法律ト同一ノ趣意ヲ取ッテ、此商法修正案ヲ定メタノデアリマスカラ、結果ハ畢竟現行法ト違ツタコトニナルノデアリマス

○(花井卓藏君) 百五十三條ニ附イテ尙ホ御尋ヲシマスガ、百五十三條ノ第一項ニハ「前條ニ定メタル手續ヲ踐ミタルモ株主カ拂込ヲ爲ササルトキハ其權利ヲ失フ」ト、斯ウ書イテアル、第一項ノミヲ讀ンデ見マスルト、前條即チ百五十二條ニ定メテゴザイマスル手續ヲ踐ミタルモ、株主ガ拂込ヲ致シマセヌ場合……當然其權利ヲ失フト云フコトニ讀メル、サウスルト此第一項ノ法文ヲ嚴格ニ解釋シテ行キマスルト、拂込ヲナサズ、即チ權利ヲ失フト云フコトニナル、サウスルト最モ先キニ滯納金額ノ拂込ヲナシタル讓渡人若クハ競落人が株式ヲ取得スルヲ待ツコトナシ、果シテサウ云フ次第デアリマスト、全ク一時株主ノナイ株式ガ出來ルヤウニナリマス、ソレハ御認メニナル趣意デアリマセウカ、若シソレヲ御認メニナラストスルト、第二項トノ折合ガ、ドウ云フ工合ニナリマスカ、私ノ考デハ、全ク株主ノナイ株式ト云フモノハ、或ト一時株主ノナイ株式ガ出來ルヤウニナリマス、故ニ此百五十三條ノ一項ト二項トヲ合併シテ、斯ウ云フヤウナ法文ニシタナラバ、都合ガ宜カラウト思ヒマス、其法文ノ意味ハ「第一百五十三條前條ニ定メタル手續ヲ踐ミタルモ株主カ拂込ヲ爲ササルトキハ」カラ、直グニ「會社ハ株式ノ各讓渡人ニ對シ二週間ヲ下ラサル期間内ニ拂込ヲ爲スヘキ旨ノ催告ヲ發スルコトヲ要ス」云々ト云フ風ニ修正ヲシタナラバ、永久株主ノナイ株式ヲ見ルガ如キ不都合ヲ見ナイシ、又取得スル者ノアルノヲ待ツテ、株主ヲシテ權利ヲ失ハシメルト云フ都合ニナッテ、誠ニ体裁モ良シ、實際ニ於テ都合ガ宜イト思ヒマスガ、ソレ等ノ點ニ附イテハ、ドウ云フ御考ヲ御持チニナツテ居リマスカ、ソレヲ御尋ヲシマス、ソレカラ第三項ニ附イテハ、斯ウ云フコトガ書イテアル「讓渡人カ拂込ヲナササルトキハ會社ハ株式ヲ競賣スルコトヲ要ス此場合ニ於テ」ノ下ヘ「競落人株式ヲ取得シ」ト云フ數文字ヲ加ヘテ置イタナラバ、第三項ノ關係モ分ラウト思ヒマス、ソレカラ第三項ノ末段ニ「會社ハ讓渡人ニ對シテ各

株主ハ、株主タルノ權利ヲ失フモノノデアルヤ否ヤト云フコトガ、分ラヌトハ申サヌノデアリマスガ、多少不明デゴザイマス、故ニ其株式ナルモノハ、或ハ法理上此一時無形ノ株式アルコトヲ、即チ空ニ浮イテ居ル所ノ株式ナルモノガアルト云フコトヲ、法律ガ認ムルト解釋シテモ、或ハ差支ナカラウカト思フ、ソレハ寧ロ解釋論ノ方ニ移ルモノノデアラウト思ヒマス、ソレカラ第二點ハ、第三項ノ末段ニ「此場合ニ於テハ競落人ハ株式ヲ取得ス」ト云フコトヲ入レタラドウカ、ソコデ競賣ト云フコトノ性質ハ、ドウ云フモノノデアルカト云フト、特ニ商法ダケノ問題デハゴザイマセヌガ、詰リ一種ノ賣買ニ相違ナイ、競賣ニ依シテ得タ人ハ、即チ其當然株式ノ取得者デアルト云フコトハ、別段ニ法律ノ明文ヲ必要トセヌデアラウト云フ趣意カラ、之ヲ加ヘナカツタノデアリマス、殊ニ此條ノ第一項ニ依シテ、權利ヲ失フト云フコトガアルガ故ニ、尙更別段ノ規定ヲ必要トセシニテアラウ、ソレカラ第三點ニ、第三項中「會社ハ讓渡人ニ對シテ其辨濟ヲ請求スルコトヲ得」ト云フ、之ヲ株式ノ各讓渡人ニ對シテ辨濟ヲ請求スルコトヲ得ト云フコトニシテハ、ドウデアルカト云フ御趣意デアリマスガ「各」ト云フ文字ハ、實ハ此規定ノ上ニ於テハ、用ヰルコトハ如何デアラウカト思フト云フモノハ、此第三項ノ規定カラ言フト、會社ハ何レノ讓渡人ニ對シテモ、會社ノ選ブ所ニ委シテ、其辨濟ヲ請求スルコトヲ得ト云フノ趣意デアリマスカラ「各」ト云フト、其一ツノ取シテ、之ヲ合セテ——全體ノ讓渡人ヲ合セテヤツテ、箇々ニ之ヲ觀察スルト云フ場合デナイト、株式ノ「各」ト云フコトガ、少シ言ヒニクヒノデアル、例ヘバ此條ノ二項ニ於テ「會社ハ株式ノ各讓渡人」トシテアルノハ、是ハ多數ノ讓渡人一人一人ニ此催告ヲ發スルヲ要スト云フノ趣意デ書イテアル、此第三項ニ於テハ、讓渡人何レノ一人ニ對シテモ辨濟ヲ請求スルコトヲ得ト云フノデアリマスカラ、是モ文字論ニ移ルカモ知レマセヌガ「各讓渡人」ト云フコトハ、少シ言ヒニクヒノデアリマス

○(花井卓藏君) 唯今ノ點ニ付イテ、尙ホ一應御明言ヲ願シテ置キタイノデアリマスガ、即チ第一ニ株主ノナイ株式ノアルト云フコト、即チ空ノ株式ト云フ四字ヲ加ヘルト、此分モ矢張文字ノ修正ニ對シマスガ、サウナルト宜

云フモノガアルト云フ事柄ハ、認メザルベカラザルモノデアルト云フノ御趣意ノヤウニ承リマシタガ、果シテサウデアリマスカ、株主株式ト云フモノガ、即チ一般ノ定則デアッテ、株主ノナイ株式ワルト云フ事柄ハ、如何ニモ異様ナ感ヲ起スノデアリマス、又法律ノ趣意ヲ見マシテモ、第二項ヲ讀ンデ見ルト、立案者モ全ク株主ノナキ株式ノアルト云フ事柄ハ、御認メニナッテ居ナイカノ如クニモ讀マレルノデアル、其點ノ御明言ヲ願ヒタイノデアル、ソレカラ第二ニ御明言ヲ願ツテ置キタイ事柄ハ「競落人株式ヲ取得ス」ト云フ數文字ヲ加ヘテモ、立案者ハ矢張其意味ハ、此法文ノ中ニ含マレテ居ルベキモノデアルト云フ御説明、其御説明ニシテ當ヲ得テ居レバ、私共ワレデモ宣シウゴザイマスガ、併シ其御説明ノ中ニハ、競賣ト云フ二字ノ文字ヲ解釋スレバ、當然私ガ申シマスル修正ノ文字ハ、呼起サレルモノデアルト云フノ御趣意ノヤウニ承リマシタ、併ナガラ競賣ト云フ事柄ハ、株式ヲ取得セシムル方ノ方法ニ屬スルノデアル、廣イ意味ニ於テサウナルノデアル、取得セシムル方ノ規定ニ止シテ居ルノデアッテ、權利ヲ得ル、即チ株式ヲ取得スル方ノ側カラハ、讀マレヌ文字デアラウト思フ、併ナガラ立案者ノ御考デハ、競賣ト云フ文字ハ、取得セシムル方ニ向シテモ、又取得スル方ニ向シテモ、兩様ニ共通スルト云フガ如ク、御解釋ニナシテ居ルノデアリマスカ、若シサウ云フヤウナ御解釋ニナルト、一般ノ法律ニ用井テ居ル競賣ノ文字ハ、此商法ノ競賣ノ文字トハ、甚ダ相合セシムラト思フガ、ドウ云フ御考デアリマスカ、ソレカラ第三ニ御質問ヲ致シマシタ點ハ、委細御意見ノ通諒シマスレバ、先ヅサウ云フ御趣意デ宜カラウト思ヒマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 第一黠ニ附キマシテハ、先刻モ述ベマシタ通所所有權ト言クテハ惡フゴザイマスガ、株主タルノ權利ヲ失タル者ノ持シテ居シタ株式ト云フモノガ、法律上如何ニ之ヲ觀察スベキモノノデアルカト云フ、其解釋問題ニ至シテハ、是ハ此規程ノミデナイ、全體法律上ノ性質ニ附テノ論ハ、或ハ人ニ依シテ違フ所ガアルダラウト思フ、此處ハ主トシテ其催告シタ金額ヲ得ルノ手段ヲ定メ、手續ヲ定メタノデアリマスカラ、解釋上或ハ空ニ株式ガアルモノデアルト云フヤウナ議論モ、出來得ルコトカトモ思フデス、ソレ等ハ寧ロ解釋ノ問題ニ屬スルコトデアッテ、他ノ規程ナドニ附イテモ、法律上ノ性質ノ議論ノアル點ト同ジコトデアラウト思フデス、ソレカラ第二ノ競賣ノ文字ノコトデアリマスガ、是ハ固ヨリ花井君ノ言ハル通、賣ル方ノ側カラ無論見テ居ル、此競賣ト云フ文字ノ中ニ、買方ヲ含シテ居ルノデアルト云フコトハ、固ヨリ言ヒ得ナイ、併ナガラ競賣ヲスルト云フコトノ結果ガ、即チ買主ヲ見出スコトニナシテ、サウシテ其競賣シタ結果ハ、如何ト云ヘバ、此競賣ニ依シテ得タ人間、即チ買主ニナシテ株式ヲ取得スルト云フ方ニ差支ナカラウト云フ、競賣ノ上ニ得タモノガ權利ヲ取得スルト云フコトヲ含シダ文字デハナ

○政府委員(梅謙次郎君) 尚ホ附加ヘテ置キマスガ、此競賣ト云フ文字ハ、

法文中外ニモ使シテ居マシテ、例ヘバ同ジ商法中二百八十六條ニモ使シテ居リマスガ、其場合ニハ、イツモ其競賣ニ依シテ、誰ガ取得スルト云フコトハナイ、競賣法ハニモ、ソレハハシキリ花井君ガ言フ通書イテナイ、併シ競賣ト云フ事柄ハ、今岡野委員カラ申上げマシタ通デ、賣ルト云フコトダケヲ單獨ニ出來ナイ、是非雙務契約デ買フト云フコトガ伴フカラ、別ニ言ハナイデモ明了デアルカラ、外ノ條ニモ御説ノヤウナ文字ハ、附加ヘナイノデアリマス

○(花井卓藏君) 曾テ政府委員ヨリ承リマシタガ、競落人ガ株式ヲ取得スルト云フ事柄ニ對シテ、競賣法ニ一般ノ原則ガ規定セラレテ居ルト承ハリマシタガ、チヨシト其法文ヲ御讀聞カセヲ願ヒマス

○政府委員(田部芳君) 競賣法ノ第二條第一項「競賣人ハ競落ニ因リテ競賣ノ目的タル權利ヲ取得ス」トアリマス

○(鈴木總兵衛君) 此百三十六條ニ付イテ「引受ナキ株式又ハ第百二十九條ノ拂込ノ未濟ナル株式アルトキハ發起人ハ連帶シテ其株式ヲ引受ケ又ハ其拂込ヲナス義務ヲ負フ株式ノ申込カ取消サレタルトキ亦同シ」トアル、是ハ是マデノ現行法ニモナシコトデ、詰リ其世上ノ所謂山師的會社ト云フモノが出來テ、ソレガタメニ經濟社會ノ紊亂ヲ起シテハナラヌカラ、始メヨリ組織スルトキニ、嚴重ノ制裁ヲ設ケテ置ク、サウスルトサウ云フコトノ弊害ヲ未發ニ防グコトガ出來ルト云フ意嚮カラシテ、此條ガ設ケラレタト云フ趣意カ、又會社ハ資本が増シテ新株券ヲ發行シヤウト云フ場合デモ、從來拂込金ガ株式ガ満額ニ致ラヌデモ、サウ云フコトガ出來ル、故ニ法文デ取締役ガ、必ズ引受ケナケレバナラヌト云フ順序ニナシタ趣意カ、殆ド第百三十六條ト同様ノ解釋ガ出來テ居マスガ、果シテ政府ハサウ云フ趣意カラ起シテ、斯ノ如キ制裁ヲ設ケラレマシタカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 極ク大キイ廣イ例ヲ申シマスルト、唯今質問ニニ株式總數ノ引受ト云フコトハ、會社ノ成立ニ必要ナノデ、第百二十九條、ソレカラ又第一回拂込金ヲ各株ニ付イテサセルト云フコトガ、又會社ノ成立ニ必要ダカラ、第百二十九條ニ矢張規定シテアリマス、ソコデ續イテ此起人ト云フモノハ、創立總會ヲ招集シナケレバナラヌト云フコトガ定メテアル、ソレハ第百三十一條第一項、ソレカラ第百三十二條ニ「發起人ハ會社ノ創立ニ關スル事項ヲ創立總會ニ報告スルコトヲ要ス」之ニ依シテ發起人ハ、即チ其責任ノアル所ヲ明ラカニスルノデアリマシテ、會社ノ成立ニ必要ナル株式總數ノ引受モアッタ、又社ノ各株ニ付イテ第一回ノ拂込ガアッタト云フコトヲ明カニ示スタメニ、第百三十二條ノ規定ヲ設ケテアリマス、ソコデ第百三十四條ニ於テ、果シテ發起人ノ説明スル所、發起人ノ報告スル所ガ、事實ニ適ウテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ、取締役及監査役ニ於テ調査ヲスル譯デアリマスカラ、發起人ノ方カラ云フト、創立總會ニ對シテ既ニ株式總數ノ引受

ケガアツタ、各株ニ付イテ第一回ノ拂込ガ濟ンデ居タト云フコトヲ擔保スル譯ニナリマス、其擔保人ヲ第百三十六條ニ定メテアル、是ハ法律ノ規定カラ云フト、全ク差支ナイ、何故斯ノ如ク嚴重ニシタカト、根本ノ理由カラ尋ネテ見マスルト、其質問ニナツタ通デ、創立ノ際ニ嚴重ニスルハ、會社將來ノタメ便宜ト云フコトニ歸スルノデアリマス

○(鈴木總兵衛君)

此百六十條ニ「資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ハ總會

ノ目的及其召集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ取締役ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請

求スルコトヲ得」トゴザイマスガ、是マデハ五分ノ一位ノ制限ニナツテ居ル

ト思ヒマスガ、是ハ範圍ヲ廣クシテ、株主ノ權利ヲ擴張セシムルト云フ趣意

カラデアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 現行法ニハ、二百一條ニ於テ五分ノ一ト云フコトニナツテ居リマスガ、修正案ニ於キマシテハ、少數株主ノ權利ノ範圍ヲ多

少廣クシテ、十分ノ一ト致シマシタノデ、稍、株主ノ權利ヲ擴張シタノデアル

ト云ウテ差支ナインデアリマス、何故デアルカト申スト、此商法修正案ノ大

体ノ主義ガ、現行法ト稍々違ツテ居ル所ガアルノデ、即チ株主ト云フモノト、

會社ノ事業ト云フモノト、成ルベク密接ノ關係ヲ持タシムルヤウニシヤウ、

株主個々カラ申シテモ、會社ノ事業ノ成績ニ、十分重キヲ置カシムルヤウニ

シヤウト云フノガ、修正案ノ大体ノ一ノ趣意デアリマス、故ニ現行法ト異ツ

テ、株式讓渡人株主ノ義務モ大キクシテ、是ト權衡ヲ得ルガタメニ、株主ノ

權利ノ範圍ヲ擴クシタノデ、此何分ノ一ト云フコトニ附イテハ、元ヨリ會社

ノ株主ノ數トカ、會社ノ資本トカ云フヤウナコトカラシテ、各會社ニ附イテ

違フ所ハアルカ知ラヌガ、法律上ニハ、十分ノ一ト云フコトニシタノデ、御

参考マデニ申上げテ置キタイノハ、獨逸ノ商法ニハ、元ト類似ノ規定ガアッ

テ、二十分ノ一ト云フコトニナツテ居ル、ソレカラ匈牙利葡萄牙瑞西ノ商法

モ、十分ノ一トナツテ居リマス、中ニハ五分ノ一ト云フノモアリマスガ、是

ハ例外ニ屬スル方デ、十分ノ一ト云フコトガ、外國ノ法律ニ照シテモ廣ヒモ

ノデアリマス

○(鈴木總兵衛君) 此百五十六條ニ、總會ヲ招集スルニハ會日ヨリ二週間前ニ各株主ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ストアリマス、此二週間ト云フコトハ、場合ニ依ツテハ、必要デアラウト思ヒマスガ、大キイ會社デアツテ、株主ガ全國ニ散亂シテ居ルト云フ點ニ向ツテハ、此位ノ餘裕ガナクテハ、株主ガ其總會ニ附イテ考ヲ迴ラス餘裕ガナカラウト思ヒマスガ、小サイ會社デ、

其地方ノミニモノガ、株主トナツテ事業ヲ行ツテ居ルト云フヤウナモノニハ、二週間ト云フコトニナルト、不便ナコトニナリハシナイカ、是ハ元トハ取除法ヲ定款デ極メルコトガ出來タガ、本法デハ、サウ云フ取除ケハサレヌノデアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ株主權利ヲ保護スル上ニ於テ、必要デアラウト思ヒマスガ、御話シノ通株主ガ狭イ地方ノミニアルト云フコトハアリ得ル

ガ、元來株式ノ性質タルヤ、讓渡ノ目的デ流通スルモノデ、今日一地方ニ集ツテ居ツテモ、經濟上ノ理由カラ、ソレガ何時何處マデ及ブカ分ラヌ、外國マデ行クカモ分ラヌ、故ニ總テノ場合ニ、二週間ノ時ヲ與ヘテ置カヌト、總會ノ目的ヲ十分ニ調査シテ、意見ヲ定メテ列席スル、或ハ必要ナル場合ニハ、他ノ用事ヲ縁合セテ出席シヤウカト云フコトヲ、勘考スルト云フ必要ガアルノデ、是ハ現行法デハ往クマイト思ヒマス

○(鈴木總兵衛君) 唯今御尋シタ上ノ取除法ガ、定款ニ設ケテアルコトガアリマスガ、商法ト抵觸スルニ依ツテ、勢ヒ定款ヲ止メナケレバナラヌガ、一體本法ハ定款ニ、一週間トカ何トカ云フ便法ヲ設クルコトヲ、嚴禁スルノデアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 左様デス

○(鮫島相政君) 私モ質問致シタイト思ヒマスガ、大分長イノデアリマスカ

ラ、唯今ハ一應休憩ヲ願ヒマス

○委員長(大岡育造君) 既ニ十二時デアリマスカラ、休憩シマス

午後零時十分休憩

午後二時十六分開議

○委員長(大岡育造君) 午前ニ引續キマシテ商法修正ノ委員會ヲ開キマス、續イテ御質問ガゴザイマスレバ——且ツ本員ハチヨット支ヘガアリマスカラ、望月君、ドウゾ代理ヲ御願ヒ致シマス

(望月長夫君委員長席ニ著ク)

○(花井卓藏君) 今朝チヨット速記ナシニ御尋致シテ置キマシタガ、他日必ズ争ニナル箇條デアリマスカラシテ、政府委員ニ十分確メテ置キタイノデアリマス、即チ是ハ第百五十六條ノ第一項ニ「前項ノ通知ニハ總會ノ目的及ヒ總會ニ於テ決議スヘキ事項ヲ記載スルコトヲ要ス」ト云フコトガ書イテアルノデアリマス、即チ決議スペキ事項ト云フ文字ノ中ニハ、通知ニ掲グラレテアル範圍ノミニ限ラレルト云フ趣意デアリマスカ、又其事項ニ牽聯スル事柄ナラバ、何等ノ事柄ヲモ含マル、ト云フ趣意ニナルノデアリマスカ、從來ノ會社ガ屢々通知シ於ケル事項ノ範圍ヲ擴メテ、亂暴ナルコトヲシタト云フ事例等モアリマスルガ、是等ノ點ニ附イテハ、將來必ズ争ガアルダラウト思ヒマスガ、其事項ノ範圍ト云フモノハ、ドノ邊ノ程度マデ及ブモノカト云フコトヲ御尋ネ致シマス

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ第一段ノ御解釋ノ通デ、記載シタル事項ノ外ハ、縱令牽聯シタル事項ト雖モ、決議ハ出來ヌト云フ趣意デアリマス

○(花井卓藏君) 第百五十七條ノ二項ニ「年二回以上利益ノ配當ヲ爲ス會社ニ在リテハ云々」トアツテ、利息ト云フ文字ガナインデアリマス、ソレカラ利思ヒマスガ、御話シノ通株主ガ狭イ地方ノミニアルト云フコトハアリ得ル

説明ヲ承^{タコト}ガアリマスガ、此百五十七條ノ次ニアル百五十八條ヲ見マ
スト云フト「定期總會ハ取締役が提出シタル書類及ヒ監査役ノ報告書ヲ調査
シ且ツ利益又ハ利息ノ配當ヲ決議ス」ト書イテアリマスガ、百五十七條ノ方
ニハ、利息ノ文字ガナクテモ支ヘナイト云フ御考^{アリマスカ}

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ差支ナイ積リデアリマシテ、此前ノ商業帳
簿ニ關スル御質問ト同ジデ、利益ノ配當ヲナス會社ト云フノハ、爲スコトノ
極マッテ居ル所ノ會社ト云フ意味デアリマス、利益配當期ト云フモノハ、此
會社ニ年ニ二回以上アル、場合ニ於テハト云フ意味デアリマス、此方ハ抽象
的デアリマス、百五十八條ノ方ハ、元來ハ利益ヲ配當スペキノデアル、即
チ利益配當期ト云フモノガアルガ、利足配當期ト云フモノハナイケレドモ、
特ニ第百九十六條ノ規定ニ依^タテ、全ク例外トシテ、利益ナキニ利足ヲ配當ス
ル場合ニハ、矢張此百五十八條ノ規定ニ依^ラナケレバナリマセヌカラ、利息
ト云フ文字ヲ入レマス、此方ハ抽象的デナクシテ、形成的ニナ^タテ居リマ
ス

○(花井卓藏君) 百六十一條デアリマスルガ、是ハ實ハ經過シタル條文デアル
ガ、昨夜氣ガ附キマシタガ、第一項ニ「無記名式ノ株式ヲ有スル者ハ會日ヨリ
一週間前ニ其株券ヲ會社ニ供託スルニ非サレハ其議決權ヲ行フコトヲ得ス」
ト、斯ウ書イテアル、是ヲ私ハ「其株券ヲ會社ニ供託シタル時ニ限り其議決
權ヲ行フコトヲ得ス」斯ウ書クノガ、法文トシテ相當デアルト思ヒマスガ、如何
デゴザイマス

○政府委員(梅謙次郎君) 文字ノ事デゴザイマスカラ、ドチラデモソレハ意
味ハ違ハヌデアラウト思ヒマス、ケレドモ穩當ナル方カラ申シマシタナラバ、
原案ノ方が穩當デアラウカト信ジマス、其理由ハ株主ハ議決權ヲ有スルト云
フコトハ、當然ノ話、無記名株ヲ持^タテ居ル者ハ、議決權ヲ有スルト云フコ
トハ、此處ニ云フ必要ハナイ、併ナガラ其議決權ハ斯ウ云フ條文ガナケレバ
行ハレナイ、記名株主ナラバ左様ナルコトハ要ラヌケレドモ、無記名株主
ニ限^タテハ、斯ウ云フ條文ガ要ルト云フノデアリマスカラ、是ハ此通り書イ
タ方ガ穩當デアラウト思ヒマス

○(花井卓藏君) 一般ノ法律ノ定則カラ考ヘテ見レバ、或權利ヲ取得スル事
柄ニ付イテハ打消シノ方カラ書クノガ、法則デアリマス、此商法ヲ見マシテ
モ、或權利ヲ獲得スル、若クハ之ヲ行フト云フ場合ニハ、打消シテナイ方法
ニ書イテアル、即チ百六十一條ノ第三項ニモサウ云フヤウナ事柄ガ
デゴザイマスカラ、ドウデモ宜イト云フモノノ、成ルベク一致シタル方ガヨイ
ト思ヒマスガ「供託シタルトキニ限り行フコトヲ得」ト云フ事柄ニナルト、御
同意ニハ相成ラヌノデアリマスカラ、参考ノタメニ伺^タテ置キマス

○政府委員(梅謙次郎君) 意味ハ同ジコトデアリマスカラ、成ルベクハ御同

意致シタインデアリマスガ、他ノ文例モ只今花井君ノ御考トハ違ウテ、權利
ヲ有スルト云フコトノ極^タテ居ル事柄デア^タテ、而シテ其權利ヲ行フニ付イ
テ、斯ウ云フコトガナケレバナラヌト云フ場合ニハ、大抵ハ打消シノ方カラ書
クコトニナ^タテ居リマス、此項ノ如キハ、ソレト少シク事變^タテ、是ハ株主ハ
本人自身ニ行フモノデ、又ハ代理人ヲ以テ行フベキモノデアルト云フ單純ナ
問題ヲ決スルタメデアルカラ、是ハ打消シノ方カラ書ク筈モナシ、又打消シ
ノ方カラ書クモ、文章上ニ困難デアリマス、此第二項ノ方ハ主意ガ違フノデ
アリマス

○關直彦君 同ジ所デ伺ヒマスガ、今ノ第二項ノ株券ヲ會社ニ供託スルニア
ラザレバ、其議決權ヲ行フコトヲ得ズ、サウスルト今日株ヲ持^タテ居ルモノ
ハ、家ニ仕舞込シテ居ルノハ少數デ、大抵銀行ニ這入^タテ居ル、サウ云フモ
ノハ當然議決權ハナクナルノデアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) サウ云フモノハ、ソレヲ引出シテ會社ニ供託シナ
ケレバ、議決權ハ行ハレマセヌ

○(關直彦君) 引出スニシテモ、只ハ引出セナイガ、此無記名ノ株主デモ自
分ノ株ヲ藏ニ仕舞込シテ置ク人ハ少數デ、マア銀行ニ抵當ニナ^タテ居ル、一
方ハ供託シナイデモ、議決權ガアリ甚シキハ、當日名義ダケヲ書替ヘルノモ
アル、然ルニ無記名ノ方ハ供託シナケレバ、議決權ハナイト云フコトニナル
ト、餘程一方ト權衡ヲ失スルヤウニ思ヒマス

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ固ヨリ權衡ヲ失シテ居ルトハ思ヒマスガ、
斯様ニシマセヌケレバ、果シテ真ノ株主デアルヤ否ヤト云フコトガ分リマセ
ヌ

○(關直彦君) ワレデ其次ノ項デアリマスガ「代理權ヲ證スル書面ヲ會社ニ
差出スコトヲ要ス」是ハ成程法定代理人ト云フヤウナモノガアリマスカラ、
是ハ株主デナクテモ、代理權ヲ證明スル書面ガアレバ、總會ニ出テ株主ヲ代
表スルコトガ出來マスガ、甚シキニ至^タテハ、壯士ナドニ委任狀ヲ與^タテ決
議ノ敷ニ入レルコトモ出來マス

○政府委員(梅謙次郎君) 此法律デハ、一般ノ規定トシテハ、代理人ノ範圍ヲ
限^タテアリマセヌカラ、株主デナクテモ宜イ、併ナガラ各會社ニ於テハ定款
ヲ以テ唯今仰セノヤウナコトヲ定ムルコトハ、實際多クゴザイマス
○委員長代理(望月長夫君) 第二項ノ關君カラ御尋ニナ^タタノト、丁度反對
ニ株券ヲ會社ニ供託シレバ、議決權ガアルト云フコトニナラウ、サウシテ今
ノヤウニ抵當ニ取^タ株券ヲ所有シテ居ルモノハ、一時抵當ニ取^タ、其株
券ヲ供託シテ、サウシテ隨分議決ニ加ハルコトガ出來ヤウト思フガ、是ハ別
ニソレヲ防グ法條ハ書イテナイヤウデアリマスガ、サウ云フモノデモ有效ト
云フコトニナルノデゴザイマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) サウ云フ事實ガ知レマシタナラバ、無論其者ハ議
決權ヲ持タヌ、併ナガラ實際ニ於テハ、ソレヲ調查スルコトハ困難デアリマ

ス、往々ニシテサウ云フコトハナイトモ限リマセヌ、後カラ知レマス場合ニハ、株主デナケレバ議決權ハナイト云フコトデアツテ、若シ其事柄ガ早ク知レバ、百六十三條ニ依テ議決ヲ無效トスルコトガ出來マスガ、ウツカリシタコトハ致方ガアリマセヌ

○委員長代理(望月長夫君) 泥棒ガ盜ンデ供託シテモ有效ト云フ譯ニナリマスナ

○政府委員(梅謙次郎君) 泥棒ガ人ノ金ヲ盜ンデ買物ニ來ルノト同ジコトデス

○(花井卓藏君) 矢張百六十一條デゴザイマスガ、私ノ意見ヲ以テ質問ニ代ヘマスガ、此四項デスガ、第四項ニゴザイマスル總會ノ決議ニ付キ云々ト云フ一項、是ハ私ハ獨立ノ法文ニシタ方ガ、法文ノ体裁上相當デアル、サウシテ其處へ又斯ウ云フ文字ヲ加ヘル、第二項トシテ「前項ニ掲ケタル者及其有スル株式ハ議決權ニ關シテハ之ヲ算入セス」第二百九條ニ掲ケタル員數ニ付テモ亦同シ、斯ウヤリタイ、ト思ヒマスガ、御同意ニ相成ルデゴザイマセウカ、若シ御同意ニ相成ラヌト致シマスレバ、感服スルダケノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(梅謙次郎君) 吾々果シテ花井君ヲシテ感服セシムルコトヲ得ルヤ否ヤハ、分リマセヌガ、一應答辯致シテ置キマス、此箇條ヲ別ニスルガ宜イカ、合セルガ宜イカト云フコトハ、人々ニシテ往々見解ヲ異ニ致シマスノデ、能ク法典調査會ナドデモ、サウ云フ論ガ出テ、從シテ合セタ箇條モアリ、離シタ箇條モアリマシタガ、之ヲ離シテ斯ウ云フ不都合ガアルト云フコトハ、チヨット申サレマセヌガ、此箇條ヲ一ツノ獨立サセマスルト、皆ナ條ガ狂ヒマスルシ、ソレダケノ面倒ラシナケレバナラスト云フ程ノ、別ニ必要ガアルカト云フコトヲ疑ヒマス、唯今ノハ見ヤウニアルコトヲ認メマスガ、元來メタニ一人ノ議決權ノタメニ、總體ガ動クト云フヤウナコトハナイノデ、マルデナイトハ申サレマセヌガ、稀デアリマス、ソレ故ニ計算ニ依ッテ之ヲ省クト云フ必要ハ、ナカラウト認メタノデアリマス

○(花井卓藏君) ソレデハ第二項ノ方ハ、全ク私共ノ意見トハ違フノデ、御掲ゲニナラナカツタノデスナ

○政府委員(梅謙次郎君) 左様デス

○(鰐島相政君) 委員長ニ伺ヒマスガ、ドコデモ株式會社ノ所ハ、質問シテ宜シイノデスカ

○委員長代理(望月長夫君) 今マデ順ニヤツテ來マシタガ、午前ニ鈴木君カノ、質問カラ、後ト戻リヲシテ居ルサウデスカラ、會社中ナラ、ドコデモ宜シウゴザイマス

○(鰐島相政君) 私ハ此二百十條ノコトニ附イテ、チヨット質問致シマスガ、此二百十條ニ依リマスト、會社ノ資本ハ株金全額拂込ノ後ニアラサレハ増加

スルコトヲ得ストスウナツテ居リマスノデ、是ハ現行法律ニハ全クナインデアリマスガ、現行法律ハ即チ脱漏デ、氣ガ附カズシテ現行法ニ掲ゲテナイト云フノデハナク、矢張此ノ株金ノ増募スルト云フヤウナコトハ、會社株主ノ随意デアル——随意ニサセタ方ガ、宜イト云フ所カラ、殊更ニ其規定ヲ設ケナカツタモノデハナイカト云フコトヲ、私ハ考ヘテ居ル、決シテ誤脱デハナカラウト思ツテ居ル、然ルニ此法案ニ依リマスルト、全額拂込ンダ後デナケレバ出來ナイ、其理由ハ理由由書ニアル通デ分ツテ居リマスガ、是デハ實際ニ於テ少シク窮窟デハナイカ、現ニ例ヘテ見ルト、今日ノ農工銀行デアル、農工銀行ノヤウナモノハ、一般ノ會社銀行トハ達ツテ、株數モ極ク小クモ、普ク縣下一般ノ人ヲシテ所有者タラシメ、其利害ノ關係ハ、銀行ト縣下ノ人民ト密接關係ヲ有スルト云フヤウニナツテ居ル、ソコデ農工銀行ガ設立ニナリマシタ時分ニ、他ノ府縣ハ知リマセヌガ、私ノ縣ナドデハ、餘程申込額ガ、應募額ヨリ超過シタノデアリマス、今モマダ其怨ヲ呑ンデ居ルモノガ、澤山アルノデアリマス、然ルニ本條ノ如ク、全額拂込ンダ後デナケレバ、増株ヲ増加スルコトハ出來ヌコトニナツテ見マスルト、甚ダ不便ヲ現ニ感シテ居ルヤウナ有様デアル、又農工銀行ノ如キハ、丁度半官半民ト云フテモ宜イ位ノモノデ、三分ノ一四分ノ一ノ株券ハ官デ——府縣デ引受ケルト云フヤウニナツテ居ルカラ、サウ温ニ増株ヲ募ルト云フヤウナコトハシマイ、縣廳ナドノ同意ヲ得ナケレバ出來ヌコトニナツテ居ル、ソレデアリマスカラ二百十條ニ於テ、如何ナル種類ノ會社銀行ニモ、如何ナル事情ガアツテモ、全額拂込ンダ後デナケレバ、增加スルコトハ出來ナイト云ウテ、スツカリ此處デ、門戸ヲ鎖シタト云フノハ、少シク窮窟デハナイカト云フコトヲ感シテ居リマスガ、政府委員方ノ方デハ、是ニ多少ノ融通デモ付ケタラ宜カラウト云フヤウナ御見込ハ、無論ナイノデアリマセウガ、伺ツテ置キマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 第二百十條ノ規定ノ趣意ハ、參考書デ既ニ御承知ノ如クデアリマスカラ、特ニ此規定ノ精神ニ附イテ説明スルコトハ、必要ト致シマセヌ、ソレデ此二百十條ノ規定ハ、詰リ一般株式會社ニ適用スル規定デアリマシテ、株式會社ガ一定ノ資本ヲ定メテ、其資本ヲ以テ會社ヲ設立スル以上ハ、其會社ノ事業ノ性質カラ、其一定ノ資本デ宜イ、ソレヨリモ少クテモイカヌ、ソレヨリ多イモノモ必要トセヌト云フ、先づ大体ノ見込ガアツテ、始メテ資本ト云フモノヲ極メルノデアリマスカラ、唯今世上ノ景氣ニ依ヅテ、或ハ一定ノ資本ヨリモ、多額ノ申込ヲナスト云フコトハ、是ハ澤山例ノアルコトデ、ソレハ勸業銀行ナドモ、若シ望ノ通リニ株ヲ與ヘルト云フコトデアルト、曉カ壹千万圓ノ資本ニナツテ居リマスガ、壹億五千万圓位ノ資本ニセヌト、望ミ通リノ株ヲ配布スルト云フコトハ、出來ヌコトニナリマス、是ハヨリ勸業銀行農工銀行ナドノ外ニモ、マダ幾ラモ會社ノ事業ガ宜イト云フ場合デアルト、隨分御説ノヤウナ事柄ガ、實際ニ起シテ來ヤウト思ヒマス、併シ或ハ農工銀行ノ如キハ、今法律上ドレダケノ規定ガアルカ、記憶シテ居

リマセヌガ、多少此件ニ付イテノ特別ノ規定ハ、ナカツタト思フノデスガ、若シ會社ノ事業ノ性質トシテ、或ハ不便デアル、矢張全額ノ拂込ヲセヌ前ト雖モ、資本ヲ増加スルコトヲ許サナケレバナラヌ性質ノ會社デアルト云フ

コトデアリマスレバ、此商法ノ問題デナクシテ、矢張其特別法ノ規定トスルト云フ方ガ、穩當デハアルマイカト云フ考デアリマス、是ハ法律一般ノ規定トシテ二百十條ヲ設ケタ譯デアリマス

○(鮫島相政君) 分リマシタ

○(花井卓藏君) 私モ二百十條ニ付イテ質問致シタウゴザイマスガ、此法文ノ趣意デハ、絶對的ニ株式ノ金額ヲ増加シテ、サウシテ資本ヲ増加スルコトハ、全然許サメト云フ趣意ニ讀ムノガ、相當デアリマセウカ

○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ二百十條ノ規定カラ、來ル譯ノモノデハアリマセヌ、ソレハ第百四十四條ニ――第百四十四條「株主ノ責任ハ其引受ケ又ハ讓受ケタル株式ノ全額ヲ限度トス」トアッテ、此規定ハ最モ株式會社ノ性質ニモ適シテ居ルト云フ吾ミノ考デアッテ、株式會社ト稱シテ株主ガ、豫シメ拂フト云フ覺悟デ引受ケタ株券以外ノ負擔ヲナスト云フコトハ、本質ニ背クコトデアル、故ニ株式會社ニ於テ、現行法ガ株金ノ増加ヲナシテ、資本ヲ増加スルト云フコトヲ認メテ居ルノハ、甚ダ株式會社ノ本質ニ反シテ居ルコトデハナイカト云フ考デアルノデ、矢張同ジコトデ、法律上資本ノ増加ノ方法トシテ此修正案ニ認メテ居ルノハ、新株發行ノミデアリマスガ、其新株發行ト雖モ株主總會ノ決議ヲ以テ、例ヘバ舊株主ハ新株ヲ一株ヲ引受ケナケレバナラスト云フ決議ヲスルノハ、其決議ハ矢張有效デアル、現行法モ實ハ外國ノ例ニナクシテ、甚ダ株式會社ノ性質ヲ損シテ居ルノデハナイカト云フ吾ミハ考ヘデアルノデス

○(花井卓藏君) 二百十四條ニ付イテ質問致シタイ、新株ヲ發行シタ場合ニ於テハ、金錢以外ノ財產ニ對シテ與ヘル株式ノ數ヲ定メルノハ、何人デアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ詰リ會社ヲ代表スル權限ヲ以テ居ルモノガ、會社ノ事業トシテ之ヲナスノデアリマスカラ、取締役トソレカラ出資ヲ爲サンツスル者トノ間ニ於テ、爲スヨリ外ハナカラウト思ヒマス

○(花井卓藏君) 二百十四條ノ第三項ニ付イテ質問致シタイ、前略「其財產ニ對シテ與フル株式ノ數ノ正當ナルヤ否ヤ」ト云フコトガ書イテアル、是ハ其財產ノ價格ニ正當ナルヤ否ヤト云フ意味ナシデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 無論其價格ト離レベカラザル關係ヲ持シテ居ルノデアリマスルガ、株式會社ト云フモノカラ云フト、詰リ株式ト云フ方ヲ基ニシテ見レバ宜イノデス、其株式ノ數ガ果シテ正當デアルヤ否ヤト云フコト付イテハ、無論モウ一步邇シテ、果シテ評價ヲ正當デアルヤ否ヤト云フコトニ立戾ラネバ、判斷ハ出來ナカラウト思フケレドモ、原則トシテハ、株式ト云フコトノ數ノ方カラ觀察シテ往ケバ、法律ノ規定トシテ差支ナカラウト

云フ考デアリマス

○(花井卓藏君) サウスルト矢張價格ト云フコトニ正當ナルヤ否ヤト云フ意味ニ、解釋シ得ラレルヤウニ思ハレマスナ、違フノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 違フト云フノデハナイデス、株式會社デアルカラ、割當ヲタ株式ノ數ガ、果シテ價格相當ノモノデアルヤ否ヤト云フコトヲ見ルノデアッテ、其判断ヲナスニ付イテハ、無論見積ヲタ價格ガ、正當デア

ルヤ否ヤト云フコトニ戻ラネバナラヌデス、戻ラネバナラヌノデアルガ、法文ノ立テ方カラ云フト、株式ノ方カラ立テル方ガ、正シイノデハナイカ、斯

ウ云フ考ヘデアリマス

○(花井卓藏君) 少シ是ニハ議論モアリマスガ、参考ノタメニ伺ッテ置キタ

イノデアリマスルガ「其財產ニ對シテ與フル株式ノ數」ト云フ文字ヲ改メテ「其財產ノ價格」ト云フコトニシテハ、御同意ニ相成ラヌノデスカ、是ハ岡野

政府委員ノ御説明ヲ聽キマシテモ、ドウモ詰リ私ノ言フガ如ク、價格ト云フ事柄ニ歸着スルニ違ヒナイヤウニ思ハレルシ、斯シナ事柄ハ、ハツキリ判明シテ置イタ方ガ宜イヤウニ思ハレルシ、又事實價格ト云フ方ガ、適當デハナ

カラウカト考ヘルト云フノハ、三項ト云フ文ニ規定セラレタル條項ヲ御注意ノ上デ、御精讀ヲ願ヒマシタナラバ、價格ト云フ字ヲ生出ス文章ノ筋ニナルト、私ハ思フノデスケレドモ、過日御説明ヲ承リマスニ、日本古來ニナイ文

字ガ法律ノ中ニハ、今度御製造ニナシタト云フ御趣意デアリマスカラ、参考ノタメニ他日法理的文字ノ字典ガ、出來タ時分ニハ、隨分解釋ニ困リマスカラ、尙ホ一應確メテ置キマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 花井君ノ言ハレルヤウニシテモ、歸スル所ハ同ジコトデアラウト思ヒマス、併ナガラ價格ガ果シテ正當ナルヤ否ヤト云フコトダケハ、是ニ對シテ與フル株式ノ數ガ、果シテ其價格ニ正當ノモノデアルヤ否ヤト云フコトヲ、直接ニ言ヒ現ハサナインデアル、故ニ寧ロ株式會社ノコトデアルカラシテ、株式ノ數ガ正當デアルヤ否ヤト云フコトヲ基ニシテ書イ

テ置イテ、ソレカラ其數ノ正當ナルヤ否ヤト判断スルニ付キマシテハ、財產ノ評價ガ果シテ正當ナルヤ否ヤト云フコトニ立戻ルト云フコトニ書イテ置ク

方ガ、法文トシテハ適切デハナイカト云フ吾ミノ考デス

○政府委員(梅謙次郎君) 尚ホ附加ヘテ申シマスガ、價格ガ正當ナルヤ否ヤ

トダケハ、是ニ對シテ與フル株式ノ數ガ、果シテ其價格ニ正當ノモノデアルヤ否ヤト云フコトヲ、直接ニ言ヒ現ハサナインデアル、故ニ寧ロ株式會社ノコ

トデアルカラシテ、株式ノ數ガ正當デアルヤ否ヤト云フコトヲ基ニシテ書イ

テ置イテ、ソレカラ其數ノ正當ナルヤ否ヤト判断スルニ付キマシテハ、財產

ノ評價ガ果シテ正當ナルヤ否ヤト云フコトニ立戻ルト云フコトニ書イテ置ク

方ガ、法文トシテハ適切デハナイカト云フ吾ミノ考デス

○(花井卓藏君) 第二百五條ニ付イテ矢張御尋ネシタイノデス、是モ私ガ

ニシテ見レバ宜イノデス、其株式ノ數ガ果シテ正當デアルヤ否ヤト云フコトニ付イテハ、無論モウ一步邇シテ、果シテ評價ヲ正當デアルヤ否ヤト云フコト得ト

トスウ書イテアル「減少」ノ二字ヲ「變更」トシテハドウデス、此文ハ

ガアルノデゴザイマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) チヨウト伺フノデスガ、變更ト書ケバ、場合ニ依テハ、增加スルコトモ出來ルシ……

○(花井卓藏君) サウデス
レダケデ宜イト云フモノハ、株主總會デソレハ許ス必要ガナイト認メマスカラ、詰リ許サヌ

○(花井卓藏君) サウ云フコトハ此法律デハ、見エヌト云フノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) サウデス

○(鮫島相政君) サウスルト二百十五條デスガ「株主總會ニ於テ金錢以外ノ財產ニ對シテ與フル株式ノ數ヲ不當」ト云フ其「不當」ト云フハ即チ高ク見積タ場合ニ不當デアルノデセウ

○政府委員(梅謙次郎君) 詰リサウ云フコトニナリマス

○(花井卓藏君) 一二百二十條ニ付イテ質問ヲ致シマス、株主總會ニ減少ノ方法ヲ決議ヲ致シマシタル場合ニハ、總テノ株主ト云フモノハ、之ニ盲從セナケレバナラヌ、盲從ト云フト語弊ガアルガ、必ズ服從ヲシナケレバナラヌノデセウカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 株主總會ノ決議ニ、其減少ヲナスコトヲ許スト云フ以上ハ、異議アルモノト雖モ、其決議ニ服從シナケレバナラヌト云フコトハ、當然ノコト、見テ居ルノデアリマス

○(花井卓藏君) 今度ハ二百三十二條ト、ソレカラ第百條等ノ文字ノコトニ付イテ御尋ネヲシテ置キタイデス、此文ダケハ速ニ御同意ヲ得ラレルコトデアルト思フノデスガ、第百條ニ斯ウ云フコトガ書イテアル、會社ガ事業ニ著手シタル後其設立ガ取消サレタルトキハ解散ノ場合ニ準ジテ清算ヲ爲スコトヲ要ス云々ト、斯ウ書イテアル、ソレカラ第二百三十條ニハ、會社ガ事業ニ著手シタル後其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ解散ノ場合ニ準ジテ清算ヲ爲スコトヲ要スト、斯ウ書イテアル、此取消スト云フコト、無效ト云フコトハ、格段ナル意味ノアルモノナルヤ否ヤ、私ノ考ヘル所デハ、取消ト無效ト云フコトハ、文字ニハ格段ナル相違ガアルカ知ラヌガ、此百條ト二百三十二條トノ場合ニ於テ、毫モ異ナル所ハナカラウト思ヒマス、法文ノ一一致ヲ力ムルト云フ上カラ見レバ、少シク變ニ考ヘルノデゴザイマスガ、此ノ間ニ何カ區別ガアルノデゴザイマセウカ、恐ラクハナイコト、思ヒマスガ、若シアルナラバ、御説明ヲ承クテ置タキイ、或ハ白壁ノ微瑕デハナイカト思フノデアル

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ理由ガアルノデス、其理由ヲ申スト云フト、丁度比較サレタ第百條デス、此場合デアルト、合名會社ノコトデアリマスカラ、即チ總テノモノガ同意シテ、ソレデ其會社ト云フモノハ、直チニ成立セラル、ノデアル、一人ノ者ガ例ヘバ詐欺ニ罹シタカ、或ハ脅迫ニ依シテ同意シタカ云ウテ、サウシテ其一人ガ契約ヲ取消ス、斯ウ云フト其結果ハ、

當然成立ガ取消サレタト云フコトニ歸スルノデ、ソレデアリマスカラ此合名會社ノ場合デハ、一人ガ契約ヲ解除シタト云フ結果ガ、當然會社ノ成立ガ消レタト云フコトニナル、所ガ株式會社ノ場合デアルト云フト、同様ニ見ル譯ニハイカヌノデス、其場合モ決シテナイトハ申サヌノデアリマスガ、併シナガラ既ニ此第百四十二條ニ於テ、會社ガ前條第一項ノ規定ニ從ヒ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲シタル後ハ株式引受人ハ詐欺又ハ強迫ニ因リテ其申込ヲ取消スコトヲ得ズ、此處デ普通ノ詐欺又ハ脅迫ハ取消スコトハ出來ヌト云フコトニナシテ居ル、ソレデアルカラシテ百三十六條ノ規定ニ、株式ノ申込ガ取消サレタルトキ亦同ジトアツテ、拂込ラシナケレバナラヌ義務ヲ持ツテ居ル、ソレデアリマスカラ合名會社ノ場合ニ於テ、騙サレタ社員ノ一人ガ、契約ノ取消ヲシテ、其結果ガ會社ノ成立ノ取消シニナル場合ト、同一視スルコトハ出來ナイ、例ヘバ株式會社ニ付イテ言ヘバ、定款ニ定ムベキ事項ガ定メテナカッタ、併ナガラ創業總會並ニ株主總會ニ於テ、之ヲ改メルコトガ出来ルノデス、「第一百二十條ニ、定款ハ斯々ノ事項ヲ記載スルト極ツテ居ル、ソコデアリマス」
「第一百二十一條ニ、前條第五號乃至第七號ニ掲ゲタル事項ヲ定款ニ記載セザリシトキハ創立總會又ハ株主總會ニ於テ之ヲ補足スルコトヲ得トアリマス、此五號乃至七號ト云フモノハ、稍々輕イモノデアルノデス、一號二號三號四號ノ如キハ、實際ニ於テハ殆ド事實ニナイト云フコトハ、ナイデハアリマセウガ、併シナガラ法律ノ規定トシテ、是非是ダケト云フコトヲ明示シタル以上ハ、之ヲ掲ゲナカッタ場合ノ制裁ト云フモノハ、自ラナクシテハナラヌノデサウ云フ一例ヲ以テ見テモ、第二百三十二條ノ規定ガ分レルノデアリマスカラ、ソコデ第一百條ノ場合ト二百三十二條ノ場合トハ、全然同視スルコトハ出來ナイト云フ考デ、特ニ書別ケタ積リデアリマス
○政府委員(梅謙次郎君) 尚ホ附ケ加ヘテ申シマスガ、ソレナラバ合名會社ノ場合ハナゼ無效ニ見ナイカト云フ論ガアルカモ知レヌガ、是ハ合名會社ハ御承知ノ通人數ガ少ナクナケレバ出來ナイ會社デアツテ、サウシテ成立ノ手續ト云フモノモ殆ドナイン、唯定款サヘ定ムレバ宜イト云フコトニナシテ居ル、隨ツテ無效ニナルト云フヤウナコトガ、株式會社ノ如ク機會ガ多クナイ、株式會社ノ方ハ、設立ノ條件ガ非常ニ多イカラ、其條件ガ缺ケテ居ルト云フト、會社ニハ無效デアル、合名會社ニハサウ云フコトハ少ナインノデス、ソレカラ又假リニアツタ所デ、是ハ株式會社ノ如ク、第三者ニ利害ノ關係ヲ及ボスモノデハナクシテ、現ニ其清算ナドモ總社員ノ同意デ、勝手ニシテ、詰リ清算シナクシテモ宜イト云フ位ノモノデアリマスカラ、無效ト云フコトニ付イテハ、普通民法ノ規定ニ據シテ、無效ト見テ差支ナイト云フ積リデアリマス
○(花井卓藏君) 兩政府委員ノ御説明ハ、甚ダ感服セラレヌノデアリマスケレドモ、ソレハ意見ニ屬シマスカラ、ソレハソレデ宜シイ、更ニ進ンデ質問

○委員長代理(望月長夫君) 今梅政府委員ノ説明ニ付イテ、不思議ニ思フノハ、取消サレタル解散ノ場合ニ準シテ清算ヲ爲スコトヲ得、取消サレタトキハ此通リデアル——私共ノ考デアルト、況ヤ成立ガ無效ニナツタトキハ、無論此條ヲ適用スルト解釋シテ居タノデスガ、成立ノ無效ニナツタ場合ハ、ドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハアルノデゴザイマス、此取消サレタ場合ト云フノハ、或ハ社員ノ一人ガ無能力デアル、或ハ詐欺ニ罹ラ、脅迫ニ遭ラタト云フ場合デアル、此場合ニ於キマシテハ、詰リ他ノ無能力者ヲ、謂ハシ利用シタ人間又ハ脅迫シタ人間ト云フモノハ、先ヅ惡ルイコトヲスル意思ノアル場合デアル、サウ云フ場合ニ於テハ、正確ノ清算ヲサセケレバナラヌ、初メカラ無效デアルモノハ、成立スルト云フヤウナコトハ、實際ナイ、マアソレハ法律ヲ知ラナイガタメニ、法律ノ條件ヲ充タシテ居ラヌヤウナコトガアルカハ知ラヌガ、ソレハ法律上マルデ成立シテ居ラヌノデスカラ、ソレガタメニ社員各自ガ、ドウ云フ損失ヲ被ムラウトモ、ソレハ一向干涉スルニ及バヌコトデ、此株式會社ノ方ニアツテ見ルト、其場合ニ合名會社ノ如ク、唯民法ノ規定ニ依ラテ、會社ハマルデナクナツタモノト見ルト云フコトニナリマスルト、多クノ株主及ビ株主ト取引シタル多クノ債權者ノ權利ガ、十分ニ保護サレヌカラ、ソレデ株式會社ニ附イテハ、無效ノ場合モ矢張清算ヲナサナケレバナラヌ、ソコガ即チ株式會社ハ、必ズ清算ヲシナケレバナラヌト云フ規定ガアリ、合名會社ハ清算ヲシナクッテモ宜イト云フノハ、詰リ同ジ趣意カラ出テ居ルノデアリマス

○委員長代理(望月長夫君) 詰リサウスルト第百條ハ、取消サレタル後ニ適用スル、將來着手後デモ、無效ノ場合デハ、適用セヌ條デスカ

○政府委員(梅謙次郎君) サウデス

○(花井卓藏君) 第二百三十三條ニ付イテ質問シマスルガ、此法文ハ文書保存ニ關スル規定デアリマスガ、此株式會社ニ關スル文書保存ノ規定ト云フモノト、ソレカラ合名會社ニ對スル、即チ第一百一條ノ規定ト、權衡ガ取レナイヤウニナツテ居リマスルノデアリマスガ、其理由ハ、ドウ云フ譯デアリマセウカ

○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ前會ニ説明致シマシタルコトデアリマスガ、合名會社ニ於テハ、清算ヲシナクッテモ宜イト云フコトニナツテ、清算ヲシナイ場合ニハ、清算結了ノ登記ヲナシタ後ト云フコトハ言ヘナイノデ、其場合ニ於テハ、解散ノ登記ヲシタ後トシナケレバ、外ニ繰替ヘヤウガナイ、ソコデ違ラテ居リマス

○(花井卓藏君) ソレハ分ルノデスガ、一百三十三條ニハ保存者ノ選任ト云フコトハ、裁判ニ一任スルト云フ規定ガアル、勿論清算人並ニ利害關係者ノ

請求ニ依ラテハ、裁判所選任スト云フコトニナツテ居ル、然ルニ百一條ニ於テハ、取消サレタル解散ノ場合ニ準シテ清算ヲ爲スコトヲ得、取消サレタトキハ此通リデアル——私共ノ考デアルト、況ヤ成立ガ無效ニナツタトキハ、無論此條ヲ適用スルト解釋シテ居タノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ先刻ノ問題ニ付イテ御答シタト同シコトデ、合名會社ト云フモノハ、概シテ少數者ノ造ル會社デ、其利害ノ及ブ所ハシナケレバナラヌ、縱令株式總會テ清算セイデモ宜イト言ラテモ、ソレハ無效デアル、株主ガ皆一致シテ清算センデモ宜イト言ラテモ、亦無效デアルト云フ位デアリマスカラ、株主總會ノ決議ノ多數ト云フコトハ、理窟ニ於テ出来ヌ

○(花井卓藏君) 二百二十四條ニ付イテ質問ヲシタイ、此但書ニ「定款ヲ以テ會社財產ノ處分方法ヲ定メサリントキハ株主總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得」ト云フ字ヲ加ヘタ方ガ宜シト思フデスガ、之ヲ加ヘルノヲ要セヌト云フ理由ヲ承リタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 花井君ノ御質問ノ趣意ハ、詰リ斯ウ云フコト、思ヒマス、合名會社ノ清算ノ理由ニ依ラテ、定款ヲ以テ會社財產ノ處分方法ヲ極メルコトヲ許ス、若シ定款ヲ以テ之ヲ極メナカツタナラハ、會社解散ノトキニ總社員ノ同意ヲ以テ定メルコトガ出來ルト云フ規定ガアル、是ト民法ノ規定ヲ株式會社ニ設ケルト云フ御質問ノ趣意デハナイカト思ヒマス

○(花井卓藏君) サウデス

○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ甚ダ株式會社ニ取ラテ困ルノデス、先刻梅委員カラ述ベラレタ通り、株式會社ニアツテハ何カ或事項ヲ決議シヤウト云フ場合ニハ、必シモ多數決行ク原則トシテハ、出席ノ株主議決權ノ過半數デ決議ガ出來ルト云フコトガ定メテアル、縱令特別決議ニ依ルトシテモ、免ニ角全体ノ株主ノ意思ヲニスルト云フコトハ、株式會社ニ於テハ到底望ムベカラザルコトデアル、而シテ此清算ト云フコトハ、極メテ重大ナルコトデアリマシテ、場合ニ依ラテ株主ノ幾分カ損害ヲ被ルト云フコトガアル、殊ニ會社ノ債權者ニ至ラテハ、無論損害ヲ被ルコトガアルノデアル、合名會社ニアツテハ、或ハ資本モ小ク御互ニ信用ヲ以テ立フテアル會社デアリマスカラ、社員ノ數ガ極メテ少數デアリマシテ、隨分協議ガ經マリ易ク、世ニ對スル關係モ少ナイカラ、全部ヲ或ハ社員ノ一人ニ讓渡シテモ、其者ガ會社ノ事業ヲ繼續スルト云フコトモ隨分出來ルシ、又將ニ成立セントスル會社ニ於テ其會社ノ營業全部ヲ讓渡スト云フコトモ場合ニ依ラテハ隨分必要ガアリマス、然ルニ株式會社ハ大イニ事情ガ合名會社ト違ラテ、資本モ非常ニ大キイ、株主ノ數モ餘程多數ト云フコトハ、普通デアル、第三者ノ關係モ合名會社ノ比デハナイ、デアリマスカラ清算ヲ極ク嚴重ニセヌト、或ハ株主ヲ害シ、第

三者ノ權利ヲ害フ場合、ガ非常ニ多イ、現行法ニ於テモ 株式會社ノミナラズ、多數ノ會社ニ付イテ、種々ノ財產所分方法ヲ認メテ居ル、是ガ合名會社ニ付イテハ、今ノ理由ニ依テ修正ヲ加ヘル理由アリト認メマシタガ、株式會社ニ付イテハ、其點ニ付イテ修正ヲ加ヘル必要モナシ、又理由ガナイト云フコトヲ認メテ、現行法ノ如ク存スト云フ譯デアリマス

○(花井卓藏君) 二百三十七條ニ付イテ質問シマス、無限責任社員ト云フモノハ、必ズ發起人トナラナケレバナラヌト云フ法文ノ趣意デスカ

○政府委員(梅謙次郎君) サウデス

○(花井卓藏君) 尚ホソレデハ唯今ノ事ヲ御尋ラシマスガ、サウスルト此商法ハ無限責任社員以外ノ責任ハ認メマセヌカ

○政府委員(梅謙次郎君) 株式合資會社ニアツテハ、無限責任者以外ノ發起人ハ認メナインデアリマス

○(花井卓藏君) 是カラ外國會社ニ進ミタイト思ヒマスガ、外ニ御質問ガアレバ此際願ヒマス

○(後藤文一郎君) 此前缺席シテ知リマセヌガ、四十八條ニ付イテ花井君カラ「會社カ」ト云フノヲ「會社ヲ代表スル人」ト直シテハドウカト云フ御尋ネガアツタ所ガ、機關ガ種々アルカラ「會社カ」ノ方ガ宜イト云フ梅政府委員ノ御答デアリマシタガ、其節花井君ハ「其業務ニ付」ト加ヘタラ、ドウカト云フ御尋ガアツトキニ御答ガナカツタヤウデアリマスガ

○政府委員(梅謙次郎君) 此會社ガト申シマスト、會社ト云フ法人ノ勤キト見ル場合デナケレバイカヌ、而シテ其勤キハ通常會社ヲ代表スベキ者ノ勤キモ現ハル、然レドモ「取締役ガ」ト書クモノトシマスルカ、或ハ「會社ノ業務ヲ實行スル者カ」ト書キマスト、其者ハドウ云フ行為ヲスルカ分ラヌガ、會社ノ行為ト見ラル、ヤウナ行為デナケレバナラヌカラ、例ヘバ花井君ノ如ク其業務ニ關シト云フ言葉ガ要ルト思フ、會社トスレバソレハ要ラヌ、會社ノ業務以外ノコトヲ取締役ナリ何ナリガ致シマシテモ、是ハ會社ノ行為トハ見ラヌ、ソレデサウ云フ文字ハ要ラナイ

○(後藤文一郎君) スルト云フト是ハ當然デアルカラ、其明文ハ要シナイト云フ趣意デアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 其通り

○(花井卓藏君) 外國會社ノ章ニ入テ質問ヲ致シマスガ、第一ニ御尋致シタイノハ、外國會社ガ承認シタ場合ニハ、各自ニ會社ヲ代表セシムルト云フ事柄ハ、一般會社ノ關係カラ見テモ、差支ナイト思フノデアル、然ルニ此外國會社ニ限シテ、此規定ガナインデアリマス、其ナイ理由ハ、ドウ云フ譯デアリマスカ、ソレカラ又末項ノ「第六十二條ノ規定ハ外國會社ノ代表者ニ之ヲ準用ス」ト書イテアルノデゴザリマスルガ、此處ニモ矢張民法第五十四條ノ規定ハ、外國會社ノ代表者ニモ之ヲ準用スト云フ文字ヲ加ヘタ方ガ、ヨイト思ヒマスガ、其ニ點ニ附イテ御尋致シマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 尚ホ此項ニ付イテ加ヘテ置キマスガ、今度監査役ト云フモノハ、一人デモ差支ナイト云フコトニシテアル、監査役ノ數ト云フモノハ、商法ノ修正ニハ定メテナイ、唯監査役ニ關スル第一ノ箇條ハ、即チ第一百八十條ニ「監査役ノ任期ハ之ヲ一年トス」トアルダケデ、數ニ付イテハ規定ガナイ、外國會社ノ代表者デモ其通り、少クトモ一人ハナクテハナラヌガ、併ナガラ數人アルコトハ、固ヨリ妨げナイ、是ハ特ニ法律ニ明文ヲ必要トセヨト云フ考デアリマス

○(花井卓藏君) 矢張外國會社ノコトニ付イテ御尋スルノデアリマス、法文ヲ指示スルコトガ出來ナイノデアル、併ナガラ強テ言ヘバ、第二百五十九條ニ當ルノデスガ、ソレニ付イテ一ツ質問ヲ致シテ置キタイト思フノデス、此外國會社ノ代表者ハ、株主名簿並ニ原簿ト云フモノヲ特ニ備へ置カシムルト云フ御考デアリマスカ、此分ニ限シテ、日本ニ設ケタル支店ニ備へ置カシムルト云フ事柄ガ、必要ニシテ且ツ便利ト思ヒマスガ、其邊ノ御考案ヲ承リタイ

○政府委員(梅謙次郎君) 第二百五十九條ノ末文ニ「此場合ニ於テハ始メテ日本ニ設ケタル支店ヲ以テ本店ト看做ス」ト云フコトニナツテ居ル、是ヘ前ノ規定ノ内ノ本店ノ所在地ト書イテアルノガ、籍ヲテ參リマス

○(花井卓藏君) 私ハサウハ讀メヌト思フ、此場合ニ於テハ——前略「此場合ニ於テハ始メテ日本ニ設ケタル支店ヲ以テ本店ト看做ス」ト書イテアルダケデアツテ、此株主名簿社債原簿ト云フモノ、備へ附ケニ關スル規定トハ見エヌ、即チ支店ヲ以テ本店ト見ルト云フダケニ過ギヌト思フ、元來支店ヲ以テ本店ト見ルト云フ事柄ガ、變例ニ屬シテ居ル事柄デアル、ソレデゴザイマスルカラシテ、支店ヲ以テ本店ニ代フルト云フ變例ニ代フルニ、條文ヲ要ス

ルト云フコトヲ、此處ニ設ケラレテ、更ニ進ンデ私ノ前ニ質問シタ事柄マデ
ヲ包含スルトハ見ラレヌト思ヒマスガ、サウ讀マセマスカ
○政府委員(梅謙次郎君) 二百五十九條ニハ大分廣イコトヲ含ンデ居ル、株
式讓渡杯ニ關スル事項ガ矢張アル、ソレデ前ノ箇條ヲ御覽下サルト、此處ニ
引イテアル箇條ノ中ニ、即チ株主名簿ト云フモノハ、存スルコトヲ豫期シテ
居ル規定ガアリマス、社債原簿ノ存シテ居ルコトヲ豫期シテ居ル規定ガ…
ソレデアルカラ、自カラ支店ニ其名簿原簿ヲ備ヘテ置カナケレバ、規定ガ準
用ガ出來ヌ、ソレデヨカラウト思ヒマス

○(花井卓藏君) 私ハ略ミ此一篇二編ノ質問ヲ終ツタ積デスガ、但シ終ツタ
積リデアルカラ、未ダ幾多ノ質問ガアリマスガ、今日ハ準備が出來テ居リマ
セヌ、ソレデアリマスカラ、更ニ一篇二編ニ付イテ、質問スペキ材料ヲ持ヘ
テ参リマスマデ、私ハ質問ハ止メマス

○委員長代理(望月長夫君) ソレデヤ今日ハ、是デ止シマス

午後三時十五分散會

明治三十二年二月二十日印刷

明治三十二年二月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局